



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Hisashi Shimada 〒659-0093 3-13, Sendo-cho, Ashiya, Hyogo, JAPAN
 Mail : freedomism@nifty.com Phone : 0797-38-4936
 URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

国際協会会長 「世を照らす光となるう」
 Philip Mathai(インド) "Be the light of the world"
 アジア地域会長 「歳月 Y's をワイズ(賢者) にする」
 Oliver Wu(台湾) "Years bring wisdom"
 西日本区理事 「先頭に立ってワイズの光を輝かそう」
 成瀬 晃三 クラブで、地域で、国際社会で、
 "Let Y'smen Light Shine before Others,
 in the club, in the community, in the world"
 六甲部部长 「柔軟な創造で愚直に積極的な」
 上野 恭男 ワイズライフを楽しもう」
 "With the heart filled with creative evolution.
 Let us enjoy Y's life. Faithfully and constructively!"
 芦屋クラブ会長 「奉仕する共同体」
 島田 恒 'Serving Community with YMCA'

会 長 島田 恒
 直前会長 都筑省三
 副 会 長 羽太英樹・堤 清
 書 記 桑野友子・福原吉孝
 会 計 羽太英樹
 監 事 田舎庸男
 連絡主事 藤田良祐
 六甲部 上野恭男(部長)・加輪上敏彦(事務局長)
 柏原佳子(書記)・桑野友子(会計)

11
 Nov. 2012
 第 186 号

今月の聖句

ファリサイ派の人々が、神の国はいつ来るのかと尋ねたので
 イエスは答えて言われた。「神の国は、見える形では来ない。
 『ここにある』『あそこにある』と言えるものでもない。実に
 神の国はあなたがたの間にあるのだ。」

ルカ福音書 17:20~2

11月第1例会プログラム

と き: 2012年11月21日(水) 19:00~21:00
 と ころ: 芦屋市民センター 203号室
 司 会: 都筑省三 (敬称略)
 受 付: 羽太英樹・加輪上敏彦

1. 開会点鐘 島田 恒会長
2. クラブソング斉唱 一同
3. 聖書朗読 羽太英樹
4. ゲスト・ビジター紹介
5. 全国YMCAリーダー研修会報告
6. 食前感謝 柏原佳子
7. 食事・歓談
8. メンバー's スピーチ 藤川晃成
 「中高年の健康講座」
9. 1) 第2例会議事録の承認 島田 恒会長
 2) 事業委員報告・その他 各委員 & メンバー
10. YMCAニュース 藤田良祐連絡主事
11. ニコニコ献金報告 福原吉孝メン
12. 誕生祝い 島田 恒会長
 堤 清、福原美鈴、飯田ふみ子
13. 閉会点鐘 島田 恒会長

11月は広報強調月間です

地域奉仕・環境事業委員 上野恭男
 聖書は語ります。「また、ともし火をともし、升の下に置く者は
 いない。燭台の上に置く。そうすれば、家の中のものすべてを照
 らすのである。そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かし
 なさい。人々が、あなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの
 天の父をあがめるようになるためである。」マタイ5章 15~16 節
 私達ワイズメンは、イエス・キリストが示された愛のこぼれを心に
 とめることが大切だと思っています。

光は、私たちの周囲の本当の美しさを照らし出し、暗い片隅に
 も光を当てます。だから、光を輝かそうではありませんか。人々
 に私たちはYMCAのパートナーであるとはっきり言おうではありま
 せんか。私たちの地域の一隅を照らし、他の人々も私たちと行
 動をともしるように鼓舞しようではありませんか。

3つのPが広報の柱です。
 Publicity(広報)、Promotion(宣伝)とPublic Relations(広
 報活動)です。広報活動とは前の2つを結び合わせたものに、
 地域との健全で有意義な交流が出来るような実際の日常活
 動が必要です。こうして、クラブは高い評価を得、奉仕能力を
 さらに高めて行く事が出来るのです。

以上、04-05年の野田広報主任作成、広報虎の巻からの引
 用です。聖句に目を留め活動しましょう。

10月例会出席表		
第1例会出席者	例会出席率	BF切手 (累計)
メンバー 13名	出席者 13名	50gm (100gm)
ビジター 2名	メイクアップ 1名	
ゲスト 1名	合 計 14名	ニコニコ (累計)
メネット 1名	在籍者 17名	22,779 円
合 計 17名	(内広義会員 1名)	(81,739 円)
	出席率 82.4 %	

10月第1例会報告

日時： 2012年10月17日(水)19時～21時
場所： ホテル竹園 (敬称略)
出席者： 五十嵐・上野・柏原・加輪上・桑野・島田・都筑・
羽太・福原・藤田・藤川・堀江・渡辺(各メン/ウイ
メン)&五十嵐メネット
ビジター： 松本文男・松本美耶子会長(さんだクラブ)
ゲスト： 福岡憲介(芦屋市教育長)

いつものように、定刻主義者の島田会長の開会点鐘で、定刻に始まりました。いつものように、クラブソング斉唱、聖句朗読のあと、楽しく食事をいたしました。



今月のゲストスピーカーは、福岡憲助芦屋市教育長で、大変穏やかに、最近問題になっている、多くの教育に関することを、わかりやすくお話しいただきました。
まず、教育委員会の仕組み。次に、兵庫県下の色々な場所で、教育者として、色々な仕事をしてこられた経験から、面白いお話をしていただきました。楽しいお話でした。

次いで、第2例会議事録承認。11月3日の恒例チャリティランへの、協力要請、参加の勧誘など話し合い、YMCA報告、にこにこ献金報告、誕生日お祝いとプログラムを進め、9時定時に閉会点鐘で例会は終了しました。 加輪上敏彦

第1例会にさんだクラブ会長ご夫妻がご参加くださいました。さんだクラブは「さんだ米」をクラブファンとして積極的に活動され芦屋クラブにも新米を販売されお届けくださったのです。チャリティワインのオークションやチャリティゴルフの賞品(寄付)としても「さんだ米」は毎回顔を見せる人気者です。芦屋MLで届いた美耶子会長の下記メッセージをご覧ください。 柏原佳子

「今日は例会に出席させていただき、ありがとうございました。ゲストのお話も興味深く、皆さまとも良いお交わりをさせていただきました。感謝申し上げます。上野部長には新米のために台車までご準備くださり、またお運びくださり、恐縮でございました。皆さまの温かいおもてなしを感じ、嬉しゅうございました。これからも良きお交わりをよろしく願い申し上げます。」



さんだクラブ 松本美耶子・文男

神戸 YMCA チャリティゴルフ

10月30日、オリムピックゴルフ倶楽部において第27回チャリティゴルフが開催された。総勢47名、芦屋クラブからは6名(上野、加輪上、柏原、福原、藤田、島田)が参加した。朝方や寒いくらいであったが、昼にかけてだんだんと暖くなり秋晴れの絶好のゴルフ日和のなか、和気藹々プレーを楽しんだ。



当クラブのベストグロスはもちろん福原メン、44・49の93、秋空を白球が鋭く美しい放物線を描いて飛んでいった。残り5名はいずれもスコアは3桁、順位はダブルペリアという運が左右するハンディキャップ査定。運に乗じて島田が7位を占めた(賞品は三田米1俵・といきたかったが実際は5kg、福原メンは8位で続き同じく三田米5kg)。まだ数回しか本番経験のない藤田連絡主事が予想以上(?)の健闘を見せ、上達ぶりには目を見張らせるものがあった。

特筆は、柏原ウイメンのニアピン賞獲得である。打ち下ろし100ヤードあまりのショートコース、見事に60～70cmの処につけるといふナイスショット!! 商品は缶ビール、喜びの美酒を楽しまれたことと想像できる。
武田理事長(女性組優勝)、水野総主事(スコアはカワイイ)もいつも参加される恒例のコンペ、来年は5月の陽春に開催される(日にちは未定)。



ワイズ六甲部のメンバーともプレーを共にして交流できる機会でもある。成績にかかわらず楽しみ、収益からは一定額が青少年リーダーのために用いられ、だれでも参加できるこのチャリティゴルフを、ますます多くの方が楽しめるよう期待したい。 島田 恒

第15回 神戸 YMCA チャリティーラン

今年も LOVE ON THE RUN (心身に障がいのある子どもたちのために)が11月3日に快晴の秋空の下に神戸「しあわせの村」で開催されました。芦屋ワイズからは8名(上野恭男、柏原佳子、加輪上敏彦、桑野友子、堤 清、都筑省三、羽太英樹、堀江哲次の各メン)が参加しました。私は芦屋みどり福祉作業所の応援ランナーに選ばれていて、少しドキドキでした。お昼まえに「みどりの光・風・雲」グループランの3チームがスタートしました。



運動公園トラックにて柏原、桑野ウイメンから熱烈な声援を受け、以後、外周コースへと快調に走り出すことが出来ました。外周コースは最初上りが続きこれは大変と思いましたが、次は当然、下りで楽になり、3チームとも無事完走し、手をつないでゴールインしました。芦屋ワイズの「チヂミ」を事前に食べていたのがよかったのかも知れません。抽選結果でみどり福祉作業所の3チームは外れ、入賞できず残念でした。期待したラッフル抽選は(パール・ツツミの真珠ネックレス、ホテル竹園利用券あり)

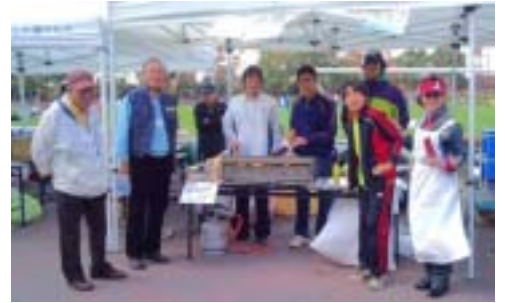


芦屋ワイズから誰も当たらず、これも来年のお楽しみとなりました。チヂミ材料や鉄板の準備、チヂミ焼きと販売、協賛などに感謝です。

堀江哲次

手伝ってくれたリーダー達の声

今年のチャリティーランは晴天に恵まれ、たくさんの方々にご協力いただき無事に終えることができました。私たち中高生わくわくクラブは、芦屋ワイズメンズクラブの方々のチヂミ作りのお手伝いや、駅伝の部に参加させていただきました。駅伝と1/100マラソンは、中高生メンバーにとって大きな挑戦でしたが、一人ひとりが力を出し切り完走することができました。走っているメンバーだけでなく、わくわくクラブの全員がそろって応援している姿がとても印象的でした。チヂミ作りでは、芦屋ワイズメンズクラブの方々と協力し、元気よく声を出し販売し、完売することができました。今年のチャリティーランも、私たちにとって学びの多い良い経験となりました。このような機会を与えてくださった芦屋ワイズメンズクラブの皆様をはじめ、チャリティーランに関わってくださった全ての方々に感謝しています。来年もどうぞよろしくお願い致します。



(中高生わくわくクラブリーダー 山木麗菜)

今年のチャリティーランは、自分にとってとても良い経験になりました。チヂミのお手伝いでは、チヂミが売れた時の嬉しさが印象に残っています。自分で作ったチヂミはまた格別の味でした。駅伝では、アンカーという大役を任せられ、走る直前まで不安でいっぱいでしたが、ゴールした時の達成感・安心感は忘れられません。また、1/100リレーでは満足のいく結果が出せたので良かったです。今日はたくさんの知り合いにも会え、とても充実した1日でした。来年もぜひ参加したいです。

(中高生わくわくクラブ 荒木浩平)

今年で15回目のチャリティーランは僕にとって特別なものでした。まず、一般の駅伝部門では6位という記録が出ました。とても嬉しかったです。芦屋ワイズメンズクラブの方々と作ったチヂミは、鉄板の上でひっくり返すのがうまくなるようになりました。おかげで完売することができました。僕は来年で最後ですが、来年もよろしくお願い致します。(中高生わくわくクラブ 増田森)

2012年ジャガイモファンド報告

福原吉孝

毎年秋になるとジャガイモファンドの季節となる。例年の受注数を確保すべく受付を開始した。今年の芦屋クラブのジャガイモファンドには「インカのめざめ」を十勝のジャガイモに加える事となった。上野メンのお知り合いが窓口として郵送などの便宜を図って頂ける。大変扱いやすいファンドである。芦屋クラブでは従来の十勝ジャガイモ10kgと「インカのめざめ」5kgの二本立てになった。十勝のジャガイモであるが、毎年、西宮クラブ濱さん宅に到着し配達をしている。美味しさで評判のいいジャガイモを期待して待っておられるお客様も多く、ほぼ例年通りの目標数をクリアした。今回、桑野ウイメンに受注の集計、集金、送付先一覧表の作成、西宮クラブに到着したジャガイモの搬出、配送等々、多大なるご尽力を頂き大変な作業に感謝の気持ちを述べておきたい。当日は、トラックからの搬出を終え、西宮クラブに宛名を記入した宅急便分リストで業者による配達依頼を済まし、お届け分は桑野ウイメン、堤メンを加えた3名で配達し、次の日は、桑野ウイメン、堤メンで各家庭にお届け頂き、日曜日には桑野ウイメンと小生で、つつがなく無事に終了した。さて、小生の「インカのめざめ」を食した感想であるが、小さなかawaii黄色のジャガイモで、栗の様に味の濃いジャガイモである。大変新鮮で、蒸かしジャガイモに塩をつけビールを頂くと大変美味しかった。カボチャも甘みのある美味しさは十分満足できた。今後、「インカのめざめ」は大変有望なファンドに育成されることだろう。現地から各家庭に郵送が可能であり大変活用しやすいファンドである。最後にいつもジャガイモの配達に奔走した故飯田メンの事がふっと思い出された。毎年汗をかきながら一緒に各家庭に配達した楽しい思い出が懐かしい。最後に貢献できるファンド育成の為に皆様の絶大なるご支援を期待したい。

六甲部だより

第1回評議会に始まり大盛会の六甲部部会、EMC/広報/ファンド各研修会、又YMCA協働のチャリティーラン等、前半の行事は無事終了しました。

六甲部後半の行事(2013年1月～6月)として

1月12日(土) YYフォーラム

3月16日(土) 第2回評議会

4月/5月 六甲部4クラブの周年行事

芦屋クラブから多くのメンバーが参加し交流しましょう。

10月第2例会議事録(抄)

場所: 芦屋市民センター 206号室

日時: 10月24日(水) 19:00～21:00

出席者: 上野、柏原、加輪上、桑野、島田、堤、羽太、福原、堀江、藤田連絡主事 (敬称略)

2012～13年度第1例会プログラム

12月23日(日) クリスマス祝会

1月16日(水) 細谷氏(関学同窓会芦屋支部長)
「ワインの話」

2月20日(水) 次期役員選出

9月度会計報告が羽太会計によりなされ承認された

15周年記念例会に関し、井上氏の退会に伴い新たに堀江哲次メンが加わり、福原吉孝メンが担当ディレクターとなる旨、島田会長より報告があった。新たに神戸女学院同窓会芦屋支部にも協力を求める

羽太委員より予算案が出され、今後さらに検討する

チャリティーラン 11月3日(土・祝) しあわせの村

参加者: 上野・柏原・加輪上・桑野・堤・都筑・羽太・堀江の8名、藤田連絡主事が中高生リーダーと共に参加
クラブ協賛金2万円とメンバー協賛金2万6千円(8名)はYMCAへ送金済み。その他、堤メンよりパールネックレス7本、ホテル竹園芦屋より竹園食事券(1万円相当)が提供された

チヂミ販売と準備: 1枚200円で300食を販売する
堀江メンがランナーとして出場する

古切手の収集と整理

11月15日(木)18:30より桑野宅にて行う

参加者: 福原・柏原・加輪上・桑野・上野・島田

2013年1月12日(土)に整理済みの古切手を持参
YYフォーラムへの参加者は11月第1例会にて募る

その他

芦屋クラブのHP管理者は柏原ウイメンが担当(上野メンが立ち上りを指導する)

井上氏の退会に伴い、羽太メンがEMC委員となる
会員の休会制度を新たに設け、芦屋クラブ会則を変更する

青年会員の会費軽減案については継続審議とし、11月第2例会で諮る

書記 桑野友子

YMCAニュース

藤田良祐YMCA連絡主事

10月日本語学科入学生

10月4日(木)、専門学校日本語学科で秋の入学式が行なわれました。48名の入学生の出身国はやはり中国が多く、他にフィリピンやネパール、バングラディッシュなどのアジアから、またアメリカからも一人の入学生がありました。

第139回全国YMCA総主事会議

10月1日(月)から3日(水)まで、東京の在日韓国YMCAにおいて、総主事会議が開催されました

・東日本大震災支援募金については、2年目となり全国的にも募金額が減少してきている。震災2年を迎える2013年3月11日前後に的を絞って、「YMCA “Japan” Challenge 募金」を計画してほしいとの要請がありました

・東日本大震災支援のために三菱商事から提供された多額の支援金について、1年半の間に293プログラム約4,000名が支援を受け今年度で終了します

ワールド・チャレンジ

10月13日(土)世界のYMCAにおいて「ワールド・チャレンジ」という名前でギネスブックに挑戦しました。

バスケットボールがYMCAで誕生したことを知らしめると同時に、世界中で多くの若者がYMCA運動に関わっていることをアピールするための「ユースのエンパワーメント」を目的とした世界大のイベントで500万人のユースがこれに参加することを目標としていますインターネットやフェイスブック、ユーチューブなどでも配信されました。

全国リーダー研修会

10月6日(金)～8日(日)に、熊本県の阿蘇YMCAにおいて開催され、神戸YMCAからは9名のボランティアリーダーが参加しました。「初心」をテーマにリーダー活動を始めた動機を振り返りながら、現在の活動を見直す試みがなされたようです

バザー・カーニバル開催

10月21日(日)三宮会館において「国際バザー」、西宮ランチ及び西宮YMCA保育園において「西宮YMCAカーニバル」、10月28日(日)西神戸ランチにおいて「わいわい祭り」が夫々開催されました。ご奉仕いただいた全ての皆様に心より感謝いたします

今後の予定

神戸YMCA 国際協力募金街頭募金

日時: 12月9日(日)午後2:00～4:00

場所: 神戸元町大丸前

編集後記: 真夏からストンと晩秋になったような今年の気候、山々は紅葉の美しい季節です。「インカのめざめ」や「十勝のじゃがいも」は如何でしたか? 秋の大イベント・チャリティーランも終わり、クリスマスシーズンです。我がクラブのクリスマス祝会は勿論の事、他クラブへも参加して大いに交流を深めましょう。
桑野友子